

「通信の暗号化」の設定変更に伴う影響と対応策について

当協会が平成30年8月27日の稼働に向けて開発中の次期ISSでは、セキュリティをより強化するためSSL/TLS通信の設定をTLS1.2とします。その場合、融資機関のパソコン（以下、PC）で使用されているブラウザやOSによっては、ISSに接続できなくなる、あるいはPCの設定変更が必要となるなどの影響が有ります。

具体的には、下記のとおりです。下記①に該当する場合は使用を停止してください。また、下記②に該当する場合は、予め設定の変更を行ってください。

記

ブラウザバージョン	WindowsOSバージョン	PC導入時の一般的な設定			TLS1.2への対応
		TLS1.0	TLS1.1	TLS1.2	
InternetExplorer 7, 8, 9	WindowsXP, Vista	有効	-	-	不可
InternetExplorer 8, 9, 10	Windows7	有効	無効	無効	設定変更が必要
InternetExplorer10	Windows8	有効	無効	無効	設定変更が必要
InternetExplorer11	Windows7, 8.1, 10	有効	有効	有効	不要

- ①WindowsXP, Vistaを使用されている融資機関のPCユーザはISSに接続できなくなります。（ブラウザのエラー画面が表示される）
- ②Windows7, 8のユーザでInternetExplorer11を使用していないユーザはInternetExplorerの設定を変更（無効→有効）することにより、ISSに接続可能です。設定変更の手順については、後述を参照ください。
- ③InternetExplorer11を使用しているユーザは設定変更することなく、そのままISS利用可能です。

【本件に関するお問い合わせ】
公益財団法人 農林水産長期金融協会
企画担当 (☎03-3292-3217)

▼Internet Explorerのバージョン確認方法

以下のURLを参照願います。

https://www.microsoft.com/ja-jp/security/pc-security/ver_ie.aspx

▼設定変更の手順

手順1: Internet Explorerを開き、「ツール」のアイコンをクリック後「インターネットオプション」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックする



手順2: 「インターネットオプション」ウィンドウの「詳細設定」タブを開き、「セキュリティ」の項目まで画面をスクロールし、「TLS1.2の使用」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックする